

3月10日(金)2017年

新潟日報

Otona

おとなプラス

寅さんの面影求めて

〈下〉

さつき歌ってた歌い手さんだね
あんたの歌とっても良かったよ
あんたね、大器晩成型だな
これからいいことがいっぱいあるよ
希望を捨てずに頑張んなよ

映画「男はつらいよ」の1
作目が公開されたのは196
9年。当初は1本だけのつも
りが、あまりの人気ぶりにシ
リーズ化され、95年の最終作

「男はつらいよ 寅次郎紅の
花」まで全48作品が作られた。

今回取り上げるのは47作目の
「男はつらいよ 拝啓車寅次
郎様」。上越市でロケが行わ
れ、本県出身の歌姫・小林幸

子さんが「小林さち子」とい
う名の歌手役で登場するとい
う、県民にとつてうれしい作
品となっている。

「拝啓車寅次郎様」に上越
市が登場するのは冒頭の6分
間。高田の雁木通りを寅さん

が歩く場面から物語は始ま
る。雑貨屋の店先に置かれた
商品をひやかしていると、ど
こからか音楽が聞こえてく

る。歩いて行くと「大山レコ
ード」という店の前で赤いス
ーツ姿の女性が歌を歌ってい
る。曲が終わると集まってい

た聴衆は去っていく。捨てら
れた歌詞カードを拾う歌姫の
姿がさみしい。

撮影が行われたのは94年10
月。薬局をレコード店に見立
てて行われた。撮影に店舗を

乃さん(65)は「映画作りの現
場を間近に見ることができ
たのはいい経験でした」と語
る。

映画に登場するのは店の外
観だが、店内は出演者やスタ
ッフの控室として使われた。

「渥美さんは顔色がすぐれず
寡黙でした。そういう設定な
のかと思っていましたが、後

からご病氣のことを知りまし
た。小林さんは気さくできれ
いな方でしたね」と当時を振
り返った。

本日の案内人

和田 明子

(デザイナー・ライター)



上越市南本町の雁木にて。古い町並みを愛して
いた山田監督は雁木の風景もお気に入りだった
(写真、モデルは和田竜哉)



タイトルバックは春日山神社
で撮影した